

## 伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

## 1 歴史的文化の掘り起こし事業

事業名	よなごの宝 88 選選定事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>地域に埋もれている文化財を市民自らが掘り起こし「よなごの宝 88 選」の選定に参加することで、それらを保護し、活用したまちづくりを行うことの機運を醸成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民自らが本市の有する歴史文化についての認識を深めること。</li> <li>・文化財などを大切にす機運の高揚を促すこと。</li> <li>・地域に対する親しみや愛着心を育むこと。</li> <li>・文化財などを保護し、将来に向けて継承していくための市民団体を市内の各地域につくる機会を提案すること。</li> </ul>		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 21 年度	
	実績	平成 19 年度～平成 21 年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	実行委員会設置、講演会・シンポの開催	754
	H20	講演会、シンポ、宝の選定	460
	H21	宝選定、冊子発刊 発刊部数 500 部	500
	合計		1,714
主な成果	<p>地域に埋もれている史跡などの文化財を掘り起こし、調査を行い基礎的な資料集成が実施でき、その中から地域の宝の紹介を目的として、代表的な 88 選を抽出し、冊子を作成し、配布した。</p> <p>配布数 500 部</p> <p>成果を活かし現地探訪(探宝会)を毎月 1 回開催し、よなごの宝を語る会を隔月に 1 回開催し、「文化創造人づくり事業」につながる事業展開を図っている。</p>		
今後の課題、 方向性等	<p>全市的な宝の掘り起こしは実施できたが、今後は、88 選で紹介できなかったものやそれぞれの地域の宝のさらなる掘り起こし及び活用する動きの醸成が課題である。</p>		
備考	<p>冊子「よなごの宝 88 選」は実行委員会により随時増刷され書店等で有償頒布されている。</p>		

## 2 文化活動の促進支援事業

事業名	88 フォトモール米子の景観88選選定事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>市内の様々な景観を見つめ直す機会を提供し、市民文化の振興を図ることを目的として、「写真文化」に着目し、景観をテーマとした市民からの公募による写真展を商店街などで開催した。</p> <p>応募された写真でフォト・コンテストを実施し、入選作品による「88 Photomall よなごの景観88選」写真集を刊行した。</p> <p>当該事業は、市民と行政で実行委員会を組織し実施した。</p>		
事業期間	当初	平成19年度～平成21年度	
	実績	平成19年度～平成21年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	実行委員会設置、88 フォトモール写真展の開催(第1回～3回)	1,400
	H20	88 フォトモール写真展の開催(第4回) よなごの景観88選の選考、入選作「米子の景観88」展覧会の開催	540
	H21	よなごの景観88選写真集の作成	1,294
	合計		3,234
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フォト・コンテストにより、米子市のよさを再認識することができ、自分たちが暮らす地域に対する親しみや愛着心を育むことができた。</li> <li>・ 「よなごの景観88選」選びをすることにより、新市の一体感を醸成する一助となった。</li> <li>・ 市民と行政が一体となった写真展等を実施することにより、文化芸術活動の活性化を促進することができた。</li> <li>・ 選ばれた「よなごの景観88選」の写真を題材にした写真集を市民有志の手によって作成することによって、市民意識を発揚させることができた。</li> </ul>		
今後の課題、方向性等	さらなる芸術文化活動の活性化と振興をいかに支援し人材育成につなげていくのが課題である。		
備考	実行委員会が主体的に事業を行っている。		

### 3 文化創造計画人づくり事業

事業名	よなごの宝 8 8 探宝会・よなごの宝を語る会		
関係課	文化課		
事業概要	<p>歴史的文化の掘り起こし事業として実施した「よなごの宝 8 8 選定事業」の成果を活用し、市民で組織した実行委員会で現地探訪(探宝会)を月 1 回開催するほか、講座、座談会として、よなごの宝を語る会を隔月に 1 回開催している。</p> <p>地域の宝を掘り起こし、活用する動きを醸成し、市民自ら企画し、実践できる人材の育成につながる事業展開を図っている。</p>		
事業期間	当初	平成 22 年度～平成 24 年度	
	実績	平成 22 年度～平成 25 年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	よなご 8 8 探宝会開催(7 月～3 月、9 回) よなごの宝を語る会 7 回	0
	H23	よなご 8 8 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回	0
	H24	よなご 8 8 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回	0
	H25	よなご 8 8 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回 (予定)	0
	合計		0
主な成果	探宝会には、毎回 30 名程度の参加がある。また、宝を語る会にも 20 名程度の参加があり、地域の宝の理解につながっている。		
今後の課題、 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加の実行委員会であるが、自主的に活動ができるまでには至っておらず、息の長い活動にするためには、実行委員会の独り立ちが必要である。</li> <li>・地域の宝の理解にとどまっており、さらなる地域の宝を掘り起こし、それを活用していく人材の育成及び活用する動きの醸成につながる展開を図っていく必要がある。</li> </ul>		
備考			

#### 4 文化施設等の整備事業

事業名	山陰歴史館整備事業		
関係課	文化課		
事業概要	文化財の保護と活用を促進するため、良好な施設環境の維持と様々な歴史文化に関する事業を展開し、歴史文化の拠点施設としての機能を担うために整備事業を実施する。		
事業期間	当初	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度	
	実績	未実施	
年度別 実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H20		
	H21		
	H22		
	H23		
	H24		
	合計		
主な成果	事業未実施		
今後の課題、 方向性等	文化創造計画後期計画の中で施設のあり方の検討も踏まえた整備計画を策定し、実施する。		
備 考			

事業名	美術館整備事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>米子市美術館は、昭和58年に開館し、郷土作家を中心に、版画、彫刻、写真等1700点余りを所有し、展覧会、米子市秋の文化祭等にも利用され、誰もが気軽に利用できる市民ギャラリーとしてのコンセプトを持つ市民に親しまれる美術館となっている。</p> <p>現在、開館後30年近くを経過し施設内部の老朽化も進み、収蔵品の増加、市民ニーズの変化にも対応し、今後も市民に親しまれる芸術・文化の情報発信と活動の拠点として、美術館の機能を充実させるための整備を実施する。</p> <p>・バリアフリー化の推進 ・展示パーテーションの改善 ・空調設備等のリニューアル ・収蔵庫の拡張 などの整備を設計に盛り込んだ。</p>		
事業期間	当初	平成19年度～平成22年度	
	実績	平成22年度～平成25年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	基本設計	
	H23	基本設計 27,825 実施設計 54,180	82,005
	H24	旧二中解体、増築工事、周辺整備	650,000
	H25	増築工事、周辺整備(予定)	228,426
	合計	事業費は図書館整備費を含む	960,431
主な成果	平成24年5月に美術館整備工事に着手した。		
今後の課題、方向性等	美術館を創作活動の拠点、発表の場として位置付け、地元芸術活動の発展にいかにつなげていくのか、また、美術普及事業を見直し、小中学生中心の講座や体験型講座の開設など整備後の活用方法の検討が必要である。		
備考			

事業名	図書館整備事業		
関係課	生涯学習課		
事業概要	<p>図書館は建築後30年以上経過しており、蔵書、資料等、収蔵品の増加による施設の狭隘化や、耐震対策、バリアフリーなどに対応するため既存施設のリニューアルを行なうほか、本市中心地の立地条件と美術館との隣接、歴史館との近接により、文化ゾーンを形成している利点を生かして、中心市街地活性化計画においても、エリア内施設の相乗効果による集客を図ろうとしており、図書館がより活用できるよう整備を実施する。</p>		
事業期間	当初	平成19年度～平成22年度	
	実績	平成22年度～平成25年度(予定)	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	基本設計	
	H23	基本設計 27,825 実施設計 54,180	82,005
	H24	旧二中解体、増築工事、周辺整備	650,000
	H25	増築工事、周辺整備	228,426
	合計	事業費は美術館整備費を含む	960,431
主な成果	平成24年5月に図書館整備工事に着手した。		
今後の課題、 方向性等	リニューアルした施設の効果的な活用や、蔵書の充実のほか、開館時間の延長、ICタグによる新貸し出しシステムの導入など、運営体制の充実により利用者の利便性の向上を図る。		
備考			

事業名	埋蔵文化財センター整備事業		
関係課	文化課		
事業概要	旧日新小学校校舎(鉄筋コンクリート造3階建 延床面積2,720㎡)を活用し、埋蔵文化財を中心とした文化財の適切な保管・保存、公開・活用、調査・研究機能を持つ施設を整備し、平成22年4月に供用を開始した。		
事業期間	当初	平成18年度～平成20年度	
	実績	平成18年度～平成21年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H18	書庫、展示室、研修室、収蔵室等整備	22,027
	H19	特別収蔵庫、資料整理室、閲覧室、特別収蔵庫、写場等整備	18,908
	H20	展示室、調査研究室、保存処理室等整備	19,626
	H21	遺跡模型、解説パネル、ジオラマ等設置	7,449
	合計		68,010
主な成果	旧日新小学校校舎を活用し、埋蔵文化財の保管・保存、公開、調査・研究等の機能を持つ埋蔵文化財センターを整備し、平成22年4月に供用を開始した。		
今後の課題、 方向性等	他の歴史関係施設、学校教育、生涯学習との連携強化をいかに図り、活用していくのが課題である。		
備考			

事業名	伯耆古代の丘整備事業(史跡上淀廃寺跡整備事業)		
関係課	文化課		
事業概要	<p>国指定史跡が集中する淀江町福岡地区の史跡の保存・活用を図る「伯耆古代の丘整備事業」の一環として実施している。</p> <p>平成16年度から平成24年度までの予定で補助事業を活用し、上淀廃寺跡の地形復元、中心部の出土状況再現、遺構復元、便益施設整備、ガイダンス施設整備、金堂、壁画、仏像の復元等を計画し、年次的に整備を進めている。</p>		
事業期間	当初	平成16年度～平成22年度	
	実績	平成16年度～平成24年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H16	地形測量、地質調査、芝張、確認調査	28,112
	H17	休憩施設、園路、ガイダンス基本設計	56,900
	H18	追加指定地買上、遺構盛土	110,040
	H19	追加指定地買上、解説版、遺構盛土	55,395
	H20	追加指定地買上、中心伽藍整備、ガイダンス 展示設計、	74,106
	H21	回廊、解説広場、ガイダンス建築工事	46,188
	H22	ガイダンス建築工事、展示工事	213,989
	H23	地形模型、総合説明板、便益施設建築	89,663
	H24	植栽、地形測量	2,754
合計		677,147	
主な成果	<p>史跡上淀廃寺跡の現地整備では、発掘調査の成果に基づき盛土した上に当時の地形を復元し、建物跡等の表示、出土状況の忠実な再現、創建時の復元を実施した。</p> <p>ガイダンス展示施設を整備し、上淀廃寺の金堂内部を出土状況・出土品から推定復元し展示を行った。</p> <p>これらの成果から、当時の姿を疑似体験できる空間が創出でき、来訪者が当時の歴史を理解できる施設となった。</p>		
今後の課題、 方向性等	<p>妻木晩田遺跡や周辺観光施設との連携が十分でないため、ソフト事業の実施など活用面を重視し、強化していく必要がある。</p> <p>駐車場の確保、追加指定地等の整備を検討し、実施する必要がある。</p>		
備考	<p>後期計画の中で、向山古墳群整備と上淀廃寺跡追加指定地の整備を予定している。</p>		



## 5 歴史的資料の整理とデジタル化事業

事業名	歴史的資料の整理とデジタル化事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>山陰歴史館・淀江歴史民俗資料館・福市考古資料館及び埋蔵文化財センターの機能と役割分担を明らかにする中で、それぞれ施設が保有する資料をデジタル・アーカイブ化に向けて整理、記録し、保存を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設が保有する資料の現況の調査</li> <li>・適切な保存方法の確立と資料の整理方法の統一化、デジタル化</li> </ul>		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 22 年度	
	実績	平成 19 年度～平成 24 年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	995
	H20	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	983
	H21	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	3,393
	H22	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	15,117
	H23	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	12,270
	H24	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	4,872
	合計		37,630
主な成果	歴史関係施設が保有する資料を整理、記録とデジタル化がほぼ完了し、資料の活用に資することができるようになった。		
今後の課題、 方向性等	成果をどのように活用するのか、「文化情報ネットワークの構築事業」での方策の検討が必要である。		
備考			

6 文化情報ネットワークの構築事業

事業名	文化情報ネットワークの構築事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>芸術文化や歴史文化に限らず、学習やイベントに関する情報など一元的に提供できる情報ネットワークを構築し、市の内外を問わず容易に伯耆の国よなごの文化を発信できるホームページを開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報提供システムの設計と開発</li> <li>・ 情報提供システムの構築と維持管理及び活用促進体制の確立</li> </ul>		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 24 年度	
	実績	未実施	
年度別 実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H19	文化情報 Web 内容拡充	
	H20	文化情報 Web 運営	
	H21	文化情報 Web 運営	
	H22	文化情報 Web 運営	
	H23	文化情報 Web を米子市ホームページに移行	
	H24		
	合計		
主な成果	平成 19 年度に文化情報の発信と文化関連施設のホームページにリンクするサイト「文化情報 Web」の内容を拡充し、平成 23 年度にその機能を米子市ホームページに移行した。		
今後の課題、 方向性等	内容を検討し、後期計画での位置づけを図る。 情報ネットワークについては、文化施設の整備を基本に、観光の視点からも分かりやすく情報発信することが望まれる。		
備 考			